

# 「地域に愛着と誇りをもつ吉田っ子の育成」をめざして

下関市立吉田小学校

## 学校運営協議会について

### ① 実施回数

年間4回開催（そのうち1回が小中合同開催）

### ② 主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明と承認、学校運営協議会の活動について
- ・学校の状況説明（校務分掌担当者から成果や課題について）、学校評価の報告
- ・学校・地域連携カリキュラムについて（小中合同学校運営協議会）
- ・本年度の反省、学校評価の報告、来年度の学校運営方針の提案

## 特色ある活動

### ◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

#### 地域と結びついた食農教育の推進

吉田は、木屋川の水と朝夕の気温の寒暖差等による自然の恩恵を受け、古くから農業の盛んな土地です。特に、特産品の吉田なすは、県内外に多く出荷されています。また、幕末期には、吉田の米が、米不足で困窮している薩摩に送られ、薩長同盟締結に大きな役割を果たしました。これらのことを児童は大変誇りに思っています。

各学年「食農教育」を教育活動に位置付けることによって、「地域に愛着と誇りをもつ吉田っ子の育成」に取り組んでいます。

- ・蓮台寺奉仕作業と筍ほり・・・蓮台寺の十一面観音像のご開帳に合わせて、毎年4月に全校児童で参道を掃き清めます。奉仕作業後は、蓮台寺付近に生えている「筍」を地域の方と一緒にほり、「筍尽くし」のお弁当をみんなで味わい、春の訪れを喜び合います。
- ・吉田なすの定植・・・毎年、5月に吉田園芸組合並びにJA下関の方々に教えていただいて、特産品の吉田なすを植えます。果肉が柔らかく、収穫期間も長い吉田なす。地域を代表する特産品を育てることを通して、地域への愛着心も一緒に育みます。
- ・田植え・稲刈り・餅つき・・・6月に昔ながらの定規を使って、田植えをします。水のはってある田んぼに初めて入る児童も多く、歓声があちこちから上がります。10月には、自分たちが植えた稲の刈り取りを行い、収穫の喜びを体験します。また、地域の方と一緒に杵と臼を使って餅つきを行い、伝統を受け継ぐ機会を大切にしています。



## 来年度に向けて

子供たちにとって、「食」を考えることは、「命」を大切にすることにつながります。特に、地域に根差した「食育」は、子供たちが未来につなげていく「命のバトン」であり、尊い財産になることでしょう。これからも、地域の力を借りながら、ふるさとと共にある「食農教育」を充実させ、吉田を愛する心を育てていきたいと思えます。

# 地域・家庭・学校がお互いの教育力をつないでつくる 「地域とともに歩む学校」をめざして

下関市立王喜小学校

## 学校運営協議会について

(1) 実施回数 4回(そのうち小中合同学校運営協議会2回)

(2) 主な協議内容

○王喜地区ふるさと協育ネットの活動との連携

○熟議ー・「木屋川中校区地域連携カリキュラム作成について」

木屋川中、吉田小、王喜小、各学校が、地域と連携した活動を紹介し合い、それらの活動を通して培いたい「地域を誇り、愛する心」を軸に地域連携カリキュラムを作成するための課題と来年度に向けての作業について確認しました。(中学校区委員、3校教職員、生徒会が参加)

## 特色ある活動

### 【図書支援】

保護者や地域の方で構成されている「本をひらく会」の皆さんに、毎週金曜日の朝や月1回の昼休みに、本読みを行っていただいています。下関いのちの日には、生命に関する絵本を読み、児童の優しい心を育てています。本のお楽しみ袋のイベントは子供たちに大人気です。また、図書の整理や修理、新書の選定などもいただいています。寄贈書を集めた「ひとみ文庫」も継続しています。

### 【学習支援】

週に3日の購買部の運営、水泳指導や監視、ゲストティーチャー(王喜の郷)による出前授業、マシン操作補助などの授業支援、JAのご支援で、たけのこやアスパラの収穫、稲作やサツマイモ栽培などの食農教育、竹細工教室やしめ縄飾りづくりの伝統文化の紹介、王喜音頭の指導や春のお茶会の開催など地域の特色を生かし、地域の伝統や文化の継承と発展に寄与していただいています。「かぐや姫の里づくりの会」の皆さんに作っていただいた竹楽器「アングルン」や「クロンプット」などを使い、下関市の音楽祭や地域の文化祭では合奏発表をしています。



竹楽器くアングルンの演奏

### 【安全安心支援】

毎日児童の登下校時に交差点や横断歩道での指導、集合場所から学校までの付き添いなど見守り活動をしていただいています。また、危険箇所も日々チェックし、学校からの情報配信メールにも対応し、児童の安全を見守っていただいています。さらに地域との合同避難訓練や持久走大会などの行事支援にもかかわってくださっています。

### 【環境整備支援】

「ひばり会」の団体を主にPTAと一体となって、木の伐採や除草、備品の修理など環境を整備し、児童の生活安全に貢献していただいています。今年度は「かぐや姫の里づくりの会」の方々に大きな門松も作成していただきました。また、季節に合わせた花壇の整備や校内に生花を飾ってくださるボランティアさんもいらっしゃり、児童のやさしい心の醸成にも役立っています。自治会の方にもご協力いただき、地域貢献活動の一環として、学校を見下ろす城山の美化清掃活動を行い、現地での地域学習にも役立っています。

## 来年度にむけて

○ 学校運営に係る課題や重点取組についてのテーマを具体的に設定し情報を共有することで、年を追うごとに家庭や地域の力も結集できている手ごたえを感じます。これからは中学校区を基本に、学校や地域間の課題を共有し、連携の明確な組織化を図り、実践・協働への意識をさらに高め、「地域とともに歩む学校」でありたいと考えます。

# ふるさとに誇りをもつ 木屋川っ子の育成に向けて



本校マスコットキャラ：コヤガワニホン

下関市立木屋川中学校

## 学校運営協議会について

今年度は、学校運営協議会を本校で3回、小中合同で1回実施しました。

11月に実施した小中合同学校運営協議会には、本校生徒会役員も参加し、小・中教職員や各校学校運営協議会委員の方々と共に「熟議」を行いました。各校の「地域連携カリキュラム」を小小、小中のつながりを意識した「中学校区地域連携カリキュラム」の策定を行いました。各グループに生徒が加わることによって、「熟議」の深まりがなされたばかりでなく、9年間で育てたい「木屋川っ子」の姿の共有ができました。また、生徒にとっても「ふるさと木屋川」を実感する貴重な時間になりました。



生徒会役員の参加した「熟議」の様子

## 特色ある活動

### ◆「美化美化（ピカピカ）大作戦」

平成25年度の学校運営協議会の「熟議」の中で発案され、翌26年度より小・中学生を巻き込んだ地域行事として始まった活動です。

今年度も王喜、吉田両地区が6月2日（日）の同一日に開催し、小・中学生と地域の方々とが協働で住んでいる地域の環境美化に取り組みました。



### ◆「竹細工から始まった地域とのつながり」

昨年度末に地域の方々のご協力・ご指導の下、竹細工を行ったことを契機に、その竹で作った花器を利用し、生け花の活動を行っています。玄関や各階廊下などに花々が飾られ、古い校舎ではありますが、とても華やかで季節感漂う素晴らしい学校環境となっています。

現在もボランティアの生徒を中心に活動が継続しているほか、王喜・吉田の各支所や東行庵などにも飾らせていただき、地域の方々からも喜ばれています。そして、地域の方々からの言葉かけが、生徒の自己有用感の醸成につながっています。



竹細工での花器を使った生け花

## 来年度に向けて

生徒たちは、幼い頃から地域とのかかわりが深いと言えます。地域の方々から学校に寄せていただく支援の数々は本中学校区の「強み」です。これまで地域から受けてきた支援をどのような形で返していくかという、「地域貢献」の視点からの取組が求められます。

今年度の「熟議」で共有された数々の具体的取組を各校で実践し、それを価値付けながら、『ふるさとに誇りをもつ木屋川っ子の育成』へとつなげていきたいと思っています。